



松崎さち NEWS



あなたの地区の
共産党市議会議員

松崎さち
です(^^) /

事務所 〒273-0021 船橋市海神 6-17-31
市役所控室 ☎ 047-436-3030
(平日 9時半～17時)
携帯 ☎ 090-6156-8592
メール sachimatsuzaki020@gmail.com

注目

市議会

ついに実現！ 学校給食 第3子以降無償化

10月4日の船橋市議会で、来年から学校給食の第3子以降無償化を実施するためのシステム改修費を含む補正予算が、賛成多数で可決・成立しました。日本共産党も賛成しました。無償化は来年4月ですが、市は「できれば1月からしたい」としています。また市の案では「給食費の未納者は対象外」ですが、滞納している方の



日本共産党西部地区委員会は、市に給食無償化を求める署名 837 筆を提出しました＝9月2日

ほとんどは生活に困っています。議会では他党派が未納者も対象にするよう求め、市は検討すると回答。日本共産党も同様に求めました。

長年の運動が実る

学校給食費は小学校で年間約4万9千円、中学校で年間約6万7千円と、家計を圧迫しています。新日本婦人の会など市民団体は長年無償化を行政に求め続け、共産党も繰り返し求めてきました。

「義務教育は無償(憲法26条)」に則り、教育の一環である給食は無料にすべきですが、政府は背を向けています。市町村独自の無料化が広がり、県内では勝浦市など9市町が完全無償化。千葉市など12市町が第3子以降など部分的に無償化しています(9月14日時点)。さらに9月、市川市は完全無償化すると発表しました。福祉に手厚いとされてきた船橋市が、ここに来て遅れをとっています。

一般会計の1%でできる完全無償化

9月5日の市議会で、松崎さち市議は日本共産党を代表して議案質疑を行いました。給食の完全無償化は一般会計2500億円の約1%(26億円)でできると紹介し、市に実施の検討を求めました。

教育次長は「学校施設の老朽化や特別支援、ICT、文化芸術など教育費は多岐に渡る。現時点で完全無償化は考えていない」と拒みましたが、やる気の問題ではないでしょうか。来年4月の県議選・市議選でも争点になります。日本共産党は県議5人、市議7人の実現で、完全無償化をめざします。



住民税非課税・子育て・若年単身世帯などにお米券配布

補正予算には物価高騰対策として、お米券4400円分を配布する事業も含まれました。対象は住民税非課税世帯、今年度均等割のみ課税世帯、子育て世帯、29歳以下の単身世帯です。共産党は6月議会ですべての物価高手当5千円給付を求め、7月には生活困窮者への支援を求める要望書を市に出しました。お米券は一定評価できますが、昨年度の一般会計剰余金は97億円にのぼり、全市民に一人5千円給付(32億円)も可能です。党は対策の拡充を求めています。

市議会 中小企業に電気・ガス代補助

10月4日に市議会です決された補正予算には、船橋市が中小企業に対し電気代・ガス代を補助する、「エネルギー料金高騰対策助成金」16億円も含まれています。対象となるのは、4月～9月分の電気料・ガス料の利用総額が30万円以上(※保育所など特定枠は3万円以上)の中小企業で、10万～60万円(特定枠は1万円～60万円)の助成を行います。日本共産党は中小事業者への物価高対策として、直接支援を求めてきました。重要な前進です。しかし電気料・ガス料の利用総額が基準未達となる業者は、対象外となってしまう。松崎市議は議案質疑で、小規模事業者にも届く追加支援と実態調査を求めました。市は「地域に出かけて事業者の話聞くのは大変。可能な限り検討し、適切な支援制度を検討したい」と答えました。実効的な施策が必要です。

地域

市議会

下総中山駅南口バリアフリー化を JR に要望書提出



JRの担当者に要望書を渡す参加者＝8月19日、千葉市

日本共産党中山支部と後援会は8月19日、JR千葉支社を訪問し、下総中山駅南口のバリアフリー化を求める要望書を提出しました。丸山慎一前県議、松崎さち市議が参加しました。

同駅の南口から駅に入るには6段の階段を登らなければいけません。JRの担当者は「当駅の場合、段差のない北口がバリアフリー対応になっている。別の経路で対応するための経費負担は原則行っていない」と回答。丸山氏が「調査・設計を実施して整備費用を市に提示してはどうか」と提案。JRは「船橋市に負担してもらえないなら検討する」と応じました。



地域

道を広げて 船橋市に要望

道路計画課長は「鉄道事業者がやりたがらない、2ルート目（のバリアフリー化）の助成のあり方も少し考えなければいけないのかなと思う。市が全額費用を出したら行うということについては、鉄道事業者に確認して、少し協議を進めていきたいと思う」と答えました。

高齢者や障害者などの移動権（交通権）の確保は重要です。引き続き実施を求めます。

山手のゴルフ練習場「サンランド船橋」の東の道路は交通量の割に幅が狭く、「安心して歩けない」「自転車で通ると怖い」などの声が出されています。9月21日、松崎市議は市議会の予算決算委員会・建設分科会で、船橋市の認識を質しました。

道路建設課長は「以前から歩道整備の要望を受けている。実際に関係地権者の方と用地交渉などの協議を進めているが、なかなかまとまらない。今年度も5月、6月、9月上旬に協議している」と回答。松崎市議は前向きに進めてほしいと伝えました。

開発

海老川上流で工事始まる 新たに被災地を生む恐れ

海老川上流地区土地区画整理組合は、8月末の組合員向け通信で「8月末日より基盤整備工事に順次、着手」と発表しました。

懸念される海老川下流域の治水対策について、市は県事業の①海老川調節池の暫定整備（貯水容量3万5千m³）、②海老川の河口～長津川合流地点までの河床掘削が、新たな街ができるまでに行われると述べています。しかし確証はありません。8月25日、船橋市の「こんな行革はイヤだ！市

民連絡会」による聞き取りで、千葉県河川整備課は河床掘削の工事スピードを答えられず、間に合わないのではという市民の声を否定しませんでした。

また、開発地の液状化対策は震度5強までに留まることも明らかになりました。医療センターの液状化対策は震度6強を指しますが、救急導線など一部であり、全面的には行われません。災害が続く時代に、新たな被災地をつくり出しかねません。

ジェンダー平等 男女混合名簿拡大を

東京新聞は3月20日、都内の区市町村と首都圏6県の政令市・中核市中67自治体の小学校で9割、中学校で7割が男女混合名簿を導入する中、船橋市は小学校1.8%、中学校0と著しく遅れている実態を報じました。松崎市議は翌々日の市議会で、「男女の優劣を子どもに刷り込む名簿のあり方は問題」と指摘し、是正を要求。市教育委員会が校長会に働きかけ、授業参観の保護者の出席確認などで導入され始めましたが、本格実施はこれからです。

日本のジェンダーギャップ指数は調査対象146カ国中116位と低位。一方でジェンダー平等を求める国民の声は広がっています。ともに声を上げ、変えていきましょう。

なんでも生活相談



11月26日（土）、12月24日（土）午後2時～4時、松崎事務所（海神6-17-31）にて。お急ぎの方は、松崎の携帯☎090-6156-8592まで

ボランティア募集中です

「ポスターなら貼ってもいい」「ビラ配りなら」「電話かけなら」など、お申し込みをお待ちしています。1面の連絡先か、左のQRコードからご連絡ください。



ご意見、ご要望、ご感想などお待ちしております

